

財団専門家グループの 2015-16年度テクニカルコーディネーター

委員長&副委員長

フィリップ J. シルバース (米国)
フランシス F. ツスピラ (ウガンダ)

基本的教育と識字率の向上

Maureen V. Duncan (米国)
Ian W. Geddes (スコットランド)
William F. Stumbaugh (エクアドル)

母子の健康

Himansu K. Basu (英国)
Catherine Noyer-Riveau (フランス)
Deepak M. Purohit (インド)

疾病予防と治療

Rajaratnam T. Arasu (マレーシア)
Babu Chacko (インド)
Frederick W. Hahn Jr. (米国)

経済と地域社会の発展

Cecelia D. Babkirk (米国)
Chalermchat Chun-In (タイ)
Jean-Claude Piers de Raveschoot (フランス)

平和と紛争解決/紛争予防

David I. Clifton Jr. (米国)
Simona Pinton (イタリア)
Mark Zober (イスラエル)

水と衛生

Gedson J. Bersanete (ブラジル)
Kenneth W. Grabeau (米国)
John Kevan (オーストラリア)

財務監査

Graciela Marchesano (アルゼンチン)
Alan Michael Pollard (フランス)
Peter Wan (香港)

財団専門家グループの皆さま、ロータリーリーダーの皆さまへ

フィル・シルバース (Phil Silvers)

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

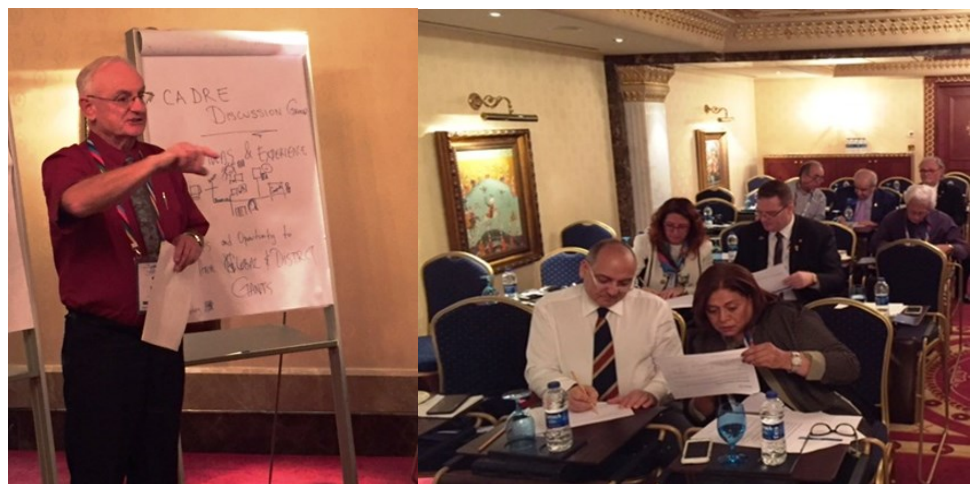
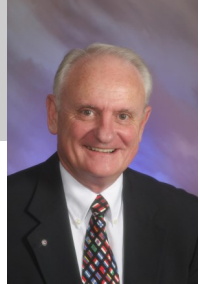
2016年が始まり、皆さまにおかれましてはお忙しい日々をお過ごしのことと拝察いたします。

補助金専門家グループは、ロータリー財団のプログラム委員会およびロータリー戦略・評価担当職員との協力の下、「ロータリー補助金モデル評価(GME)」のために約100回の現地視察を完了しました。多くの訪問は持続可能性に焦点を当てている一方で、重点分野、受益者の視点、職業研修チームなどに焦点を当てた訪問もありました。

去る11月、GMEの実施状況についてプログラム委員会と会合いたしました。現時点で評価は順調に進んでおり、使いやすいオンライン報告システムを通じて多くの貴重な情報が得られています。訪問の諸手配がうまく行かないケースもあり、そのためのガイドライン資料を作成するのがよいと考えられます。今回のGMEが今後の評価モデルを形成するものであると意識することが重要です。補助金専門家グループのメンバーには、報告書を通じてフィードバックを提供し、将来のモデルづくりに協力するよう呼びかけていきます。

GMEは来月に終了する一方で、補助金専門家グループメンバーは引き続き、補助金立案においてクラブと地区を援助し、資料の審査、現地訪問、監査といった必要な作業をこなしていきます。ここ数カ月、私たちは、視察訪問を完了したメンバーと会合したり、インタビューするなど、フィードバックを集めることに専念してきました。こうした対話を通じて、訪問の結果やプロジェクトの長所と課題をプロジェクト提唱者に伝えることができます。視察の結果の概要をプロジェクト提唱者に伝えることは重要であると私たちは考えています(ただし、ロータリー財団に提出される正式な報告書は極秘扱いとなります)。

ページ3に続きます



トルコでのロータリー研究会中に開かれた補助金専門家の研修会で話すフィル・シルバースさん(元RI理事、専門家グループの現メンバー)。

ロータリアンへのアドバイス: 地域調査の重要性

グローバル補助金申請において地域調査は必須条件ではありませんが、これを実施することでプロジェクトの質と成果に大きな違いが現れるものです。補助金専門家メンバーの役割の一つは、地域調査の重要性についてロータリアンに伝え、調査の立案と実施に必要なリソースを紹介することでもあります。

地域調査を効果的に実施するには、地元の人びとの対話を促して地域の強みと弱みを分析し、ロータリーの支援の下で地域にどのような変化をもたらしたいのかを明らかにする必要があります。

地域調査についてよくある誤解は、この調査が地域の「ニーズ」を特定するだけのものだと思われていることです。確かに、ニーズの優先付けをする上で地域調査は役立ちますが、これは多くのメリットの一つにすぎません。入念に計画された地域調査がもたらす数多くのメリットについて、ロータリアンに説明しましょう:

- 女性、若者、社会的弱者など、さまざまな層から意見を集めることができる。
- 地元の強みと弱みに対する市民の自覚を高め、自力で問題を解決する方法を見つけられる。
- 地元市民が課題を自分たちで特定し、その解決方法を考えることで、モチベーションと自信が高まる。
- 地元からの支援、モチベーション、参加、リーダーシップの育成など、プロジェクトの成果を高めることができる。
- ロータリーとその目的に対する認識が高まる。
- 実施側提唱者と現地住民とが協力する方法を特定できる。
- プロジェクトの計画と事後のモニタリングにおいて重要となる、地元関係者との信頼関係を築くことができる。
- 受益社会に関する情報不足や関係不足によって生じる問題を事前に防げる。
- プロジェクトの提案書、決定、資金調達のために調査データを使うことができる。
- 効果的なモニタリングと評価の計画を立てる上で必要なデータを集めることができる。

強みとニーズを調べ、優先付けし、プロジェクトの種類について関係者の同意が得られたら、地域調査の第2段階に入ります。この段階では、プロジェクトの立案に役立つそのほかのリソースを特定し、プロジェクトの持続可能性を高めることが中心となります。地元が主体となって以下の点を特定、調査しましょう。

- 研修、医療と保健、教育プログラムなど、プロジェクトで利用できる現地サービスがあるかどうか。
- プロジェクトに必要な資材や部品が現地で調達できるか。

次ページへ続きます

最近の現地視察



バングラデシュで実施された職業研修プロジェクトで参加者と話すサンドラ・マッカーシー（パストガバナー）さん。



教育関連の補助金プロジェクトでエクアドルを訪れたルチアーノ・ジラベルトさん（写真中央）。恩恵を受けた生徒たちとともに。



基本的教育と識字率向上プロジェクトの評価のために台湾を訪れ、現地の関係者とともに文書を審査するシルビア・パイヤーズさん（写真右から2番目）。

ロータリアンへのアドバイス: 地域調査の重要性

前ページからの続き

- プロジェクトが扱う重点分野の経験やスキルをもつ人、または地域開発に携わった経験のある人が地元にいるかどうか。
- プロジェクトを支援できる地元の名士がいるかどうか。
- 協力または資金提供ができる地元団体があるかどうか。
- 地元地区に、地域開発や該当する重点分野を専門とするロータリーの補助金専門家かロータリアン行動グループのメンバーがいるかどうか。
- 同じ地域で類似の活動が既に行われているかどうか(活動の重複を避けるため、および協力の可能性を探るため)。
- 同じような人口構成のほかの地域で、同様のニーズに取り組む活動が実施されたことがあるかどうか。ある場合、どのように実施されたか。

地域調査は、補助金申請の前からかなりの時間と手間を要する作業です。しかし、この調査を効果的に行えば、プロジェクトの質と持続可能性が大きく高まるでしょう。

地域調査の計画と実施の方法については、「[地域調査の方法](#)」をご参照ください。

財団専門家グループの皆さま、ロータリーリーダーの皆さまへ (継続します)

1ページから続きます

極秘といえば、現地訪問の後、訪問中の出来事を仲間のロータリアンに話す際には注意が必要です。現地で面白おかしいことが起こったり、問題が生じたり、新しい教訓を学ぶこともあるでしょう。しかし、こうした逸話を他人に話すことは、私たちの守秘義務に反する行為です。研修で実際の体験を話す場合があるかもしれませんが、その際にもロータリーの守秘義務に反しない形で紹介することが重要です。この件については、次回の補助金専門家グループ研修会でも取り上げる予定です。

時折、「補助金専門家グループのメンバーはプロジェクトやプログラムを評価する資格をもつ人たちなのか」と聞かれることがあります。このような疑問を持つ人には、私たちには確固とした調査プロセスがあり、このプロセスはますます包括的で徹底したものとなっていると伝えることができます。

補助金専門家グループの目下の優先事項は、補助金申請の際に(プロジェクト立案の最初の段階から)当グループが専門知識を生かしてお手伝いできることを、クラブと地区に対してよく伝えることです。財団職員は、600名以上の専門家グループメンバーを、地域や言語、専門分野、経験(申請書作成、地域調査、モニタリングと評価、持続可能性など)に基づいていつでもデータベースで検索できます。当グループの援助があれば、申請書作成のフラストレーションを和らげ、財団職員の作業量を減らし、補助金プロジェクトの質と効率を高めることができます。補助金申請にあたって補助金専門家グループの支援を得たいという方は、cadre@rotary.orgまでご連絡いただけます。ぜひクラブと地区に当グループについて伝えてください。

皆さまのご尽力に感謝申し上げますとともに、益々のご活躍をお祈りしております。

フィル・シルバース

研修会のご案内

5月27日(金)

補助金専門家の次回の研修会は、韓国RI国際大会の直前、5月27日(金)に実施されます。補助金専門家グループの全メンバーに加え、メンバーになることに関心のあるロータリアン、財団補助金の資金管理に関心のあるロータリアンならどなたでもご出席いただけます。出席をご希望の方は、研修参加フォームを記入してご提出ください。詳細はcadre@rotary.orgまでお問い合わせください。



ロータリーのフォーラムでディスカッションに参加しよう

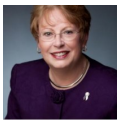
My ROTARYにあるフォーラムのディスカッションには、ロータリアン、ローターアクター、ロータリー平和フェロー、ロータリー財団プログラム学友ならどなたでもご参加いただけます。補助金専門家グループが関連するディスカッショングループは、各重点分野と会計監査に焦点を当てた全7グループです。[グループに参加する方法はこちら](#)をご参照ください。

2月1日から4月30日まで、「経済と地域社会の発展」グループと「水と衛生」グループで、それぞれ2人のメンバーが進行役となってディスカッションが行われています。

ぜひグループに加わり、対話にご参加ください。また、これらのグループにはロータリアンならどなたでもご参加いただけますので、補助金専門家グループへの質問がある場合はグループに参加するよう、クラブと地区のロータリアンにお勧めください。

モデレーター紹介:

Cadre: Economic and Community Development (補助金専門家メンバー:経済と地域社会の発展)



Deniel M. Banksさん

(ポートランド・ロータリークラブ、米国オレゴン州、第5100地区パストガバナー)

Deniel Banksさんは、1998年以来、さまざまな融資モデルを活用して小口融資プロジェクトに携わってきました。財団補助金の技術的審査、現地視察、補助金管理の研修を担当し、「小口融資と地域社会の発展のためのロータリアン行動グループ」の創設者でもあります。小口融資プロジェクトについて頻繁に講演や卓話も行っています。



Hans-Juergen Schollさん

(ムサイガ・ロータリークラブ、ケニア、第9212地区)

定年退職したドイツ出身のHans-Juergen Schollさんは、1982年にアフリカに移住しました。ロータリアン歴20年のSchollさんは、商業スキルの授業や就職斡旋を行うための職業研修センターをウガンダで立ち上げたほか、動物の保健、飼育、市場拡大といった専門的アプローチを通じて農家の収入源を増やすことを目的に、アフリカ連合の動物保健局職員を対象とした研修も行いました。

Cadre: Water and Sanitation (補助金専門家メンバー:水と衛生)



Jan Leentvaarさん

(レリスタット・ロータリークラブ、オランダ、第1590地区パストガバナー)

Jan Leentvaarさんは、オランダ水管理省の責任者を務め、政府機関の変革管理における豊かな経験の持ち主です。国連を含む海外任務の経験もあり、水資源管理、水質汚染と水質管理、廃水処理、水問題の組織間協力の分野の専門家です。

David Alexanderさん



(マニンガム・ロータリークラブ、オーストラリア、第9810地区パストガバナー)

David Alexanderさんは、システム分析とニーズ調査を専門とする土木技師で、水と衛生の観点から持続可能な地域発展に取り組んでいます。数多くの優れた補助金申請書を作成した経験があるほか、補助金専門家としてスワジランドとインドネシアでの任務についての経験があります。

2月～4月のディスカッションのトピックの例

- 経済と地域社会発展プロジェクトのための地域調査
- 職業研修
- 小口融資(マイクロクレジット)
- プロジェクト現地視察
- モニタリングと評価
- 補助金申請書の作成



- WASプロジェクト計画(地域調査、持続可能性、モニタリングと評価、プロジェクトのライフサイクルとコスト)
- WASHにおけるキャパシティビルディング(能力向上)
- WASHインフラプロジェクトのためのベストプラクティス
- 学校におけるWASH
- WASのテクノロジー
- WASHのアドボカシー
- 補助金専門家として何を学んだか



4月6日にウェビナーが開かれます:グローバル補助金「承認される申請書」のヒント(地区対象)

4月6日(水)、質の高いグローバル補助金申請書を作成するためのヒントを紹介する地区対象のウェビナー(英語)が開かれます。パネリストが地区での事例を紹介し、参加者からの質問に答えます。ロータリー補助金専門家とロータリアン行動グループメンバーからの援助を受けて立案されたプロジェクトも紹介されます。

[ウェビナーへの登録はこちらをクリックしてください](#)

日時:4月6日(水)シカゴ時間 午前9時~10時

日本時間 午後11時~12時

パネリスト:

- マルセロ・ハイクさん(パストガバナー) サントス・プライア・ロータリークラブ(ブラジル、第4420地区)
- バス・デヴ・ゴルヤン(パストガバナー) ビラートナガル・ロータリークラブ(ネパール、第3292地区)
- モーゼス・ムシトワ キャンボゴ・カンパラ・ロータリークラブ(ウガンダ、第9211地区)

重点分野に焦点を当てた

2015-16年度会長主催会議に出席しよう!

2月19~20日	疾病予防と治療	フランス、カンヌ
2月27日	経済発展	南アフリカ、ケープタウン
3月11~13日	識字率向上と「WASH in Schools」	インド、コルカタ
3月18~19日	WASH in Schools	フィリピン、パサイ



英国で開かれたロータリー研究会で補助金専門家グループの宣伝をするマイケル・ウェブさん(元RI理事)とヒマンス・バスさん(パストガバナー)。



専門家が必要とされる分野・地域

クリスチャンペペラはアンタルヤ、トルコのロータリー研究所の幹部を促進します。

ロータリアンの持続可能・測定可能な補助金活動を支える専門家グループの取り組みは、ロータリー補助金の活動とともに進化します。そのため財団では、専門家グループメンバーとして次の領域でご協力いただける、さらに多くの有志ロータリアンを探しています。

- 地域社会のニーズ調査
- モニタリングと評価
- 持続可能なプロジェクトの立案
- 水と衛生分野の専門家
- 保健分野の専門家
- スペイン語を話せる北米・中米地域の方
- 6つの重点分野のいずれかに該当する専門知識をお持ちで、アフリカ、東南アジア、中米にお住まいの方

これらの募集領域・分野に該当する方をご存知である場合は、ぜひEメール(cadre@rotary.org)でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

専門家グループのウェブサイトもご利用ください。

ロータリーのウェブサイト(www.rotary.org)のMy ROTARYに登録している専門家グループのメンバーは、My ROTARYにログインし、プロフィールのページから「ワークグループ」をクリックしてください。このページでは、各種資料、アンケートのツール、ニュースや情報をご覧いただけます。また、フォーラムへの参加、研修資料のダウンロード、「Tech Talk」アーカイブ、フォトギャラリーなど、さまざまな機能をご利用いただけます。

資金管理担当職員

メレディス・バールー

マネージャー

meredith.burlew@rotary.org

クリスチャン・ペペラ

シニア・コーディネーター、専門家グループ

christian.pepera@rotary.org

キャサリン・シューマー

監査、モニタリング・地区支援スペシャリスト

catherine.schumer@rotary.org

トーマス・ウッズ

監査とモニタリングスペシャリスト

thomas.woods@rotary.org

ラジャシュ・アナン

会計監査シニア・コーディネーター

南アジア事務局、インド

rajesh.anand@rotary.org